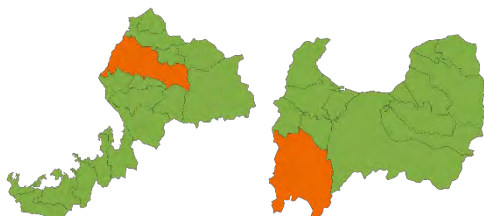


# 福井県福井市および富山県南砺市 北陸カレッジ 2023



## 【活動の基本情報】

参加学生数：16名

(1年生：9名、2年生：6名、3年生：1名)

活動期間：2023年5月～2024年1月

担当教員：木川剛志、佐々木啓

## 1. 活動実施の経緯

JR 西日本と北陸三県の自治体と大学が協力して行う産官学連携事業「北陸カレッジ」に参加した。各地域の課題を踏まえて、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指すプロジェクトである。和歌山大学が担当した自治体は福井県福井市と富山県南砺市だった。この企画はこれまでも継続的に和歌山大学観光学部として参加してきたものである。

## 2. 活動の内容

参加学生は、5月28日に北陸3県の自治体からプレゼンを受け、その中から希望を提出することになり、他の大学と重なった場合は抽選となる。その結果、担当する自治体二つが決まり、それぞれの学生の希望に基づいてわかれた。それぞれの自治体と交流し、事前学習を始め、その成果を7月15日に他大学との合同で開催されたキックオフミーティングで発表した。その後、福井市班は9月19日～21日、南砺市班は10月7日～9日に現地実習を行った。その成果は、11月18日に中間報告会が実施され、12月18日には大阪グランビアホテルにて成果報告会が行われた。

## 3. 活動を通じて

和歌山大学は2016年ごろからカレッジに参加してきたが、今年まで一度も主要賞を受賞することはなかった。今年はようやく福井市班が主要賞である「優秀賞」をはじめて受賞することができた。他大学がゼミを中心とした3年生、4年生が中心であることを考慮すれば、これは快挙である。また南砺市班も非常に面白い企画を組み上げていたので、この活動を通じて、大いなる学びがあったと考えることができる。

観光学部においては実践的な学びが重要であり、本プロジェクトのように産官学の連携がはかられ、社会実装の仕組みがあるものは今後も続けていくべきと考える。

#### 4. 成果ポスター（福井市班）



## JR北陸カレッジ 福井市班

### 北陸カレッジとは？

JR西日本・自治体・大学が連携して担当地域の活性化のため、実際に現地に赴き魅力を見つけ学生のアイデアを活かしながら旅行需要の喚起や学生の成長機会の創出を目指す産学官のプロジェクトです。今回は北陸新幹線の延伸が注目され「北陸」が舞台となりました。

### DAY1 静かに癒される一日

**START** 東京駅出発  
北陸新幹線で2時間51分

**お昼前** 福井駅到着

**朝食** 福井バスで10分  
ヨーロッパ軒総本店

**お昼過ぎ** 福井バスで1時間  
廣徳荘 チェックイン

**休憩** 福チャリで15分  
シーリングスタンプづくり体験&手紙を書く

**休憩** 福チャリで10分  
亀島遊歩道のポストに手紙投函

**夕食** 福チャリで5分  
廣徳荘 磯石料理

**終了** 廣徳荘 温泉

### DAY2 人と交流する一日

**早起** ヨガ体験

**朝食** 廣徳荘 和食  
福井バスで30分

**午前中** 毛谷島薬師社参拝  
福チャリ15分

**昼食** BUBLEDBURGER or 山奥チョコレート日和  
福チャリ15分

**休憩** 福チャリ10分  
越前蕎麦倶楽部 そば打ち体験

**観光** 貴賓館庭園 庭カフェ&福井三味線の演奏  
福チャリ15分

**体験** 地酒のみ比べ体験  
徒歩15分

**買い物** 福井駅周辺 お土産&駅弁購入

**日帰帰** 福井駅出発  
北陸新幹線で2時間51分

### 福井市の課題

- ・観光地としての知名度低い
- ・人気観光地が少ない
- ・観光素材が点在している
- ・2次交通が脆弱

### 福井市ってどんなところ？

福井県北部に位置し、かつて朝倉氏や柴田勝家などが拠点とし、城下町として発展してきた福井県の県庁所在地です。越前海岸をはじめとする美しい自然やソースカツ丼や越前そばなど豊かな食文化、一乗谷朝倉氏遺跡など歴史的に貴重な史跡が存在するなど自然と歴史が融合した魅力ある街です。

### 私たちが提案したもの

- ・旅のプランを福井市観光公式サイトや福井県観光雑誌での発信
- ・シェアサイクル：ふくチャリの改造案作成
- ・サシェを用いた1人旅専用体験の提案
- ・タイムカプセルポストの設置提唱

### ターゲット・プラン

20代から40代の  
女性の一人旅

### プランテーマ

かいふくい

～あなたがつくる第2の福井～

### 今後の活動

- ・福井県の観光雑誌「ふくのねに」カレッジ紹介ページを作成
- ・福井市の観光ホームページ「福いろ」に特設記事を作り、作成した動画などを掲載します。

### 優秀賞受賞!

# 福いろ!

### 特集 北陸カレッジ × ふくのね

北陸カレッジとは

和歌山大学・北野製菓所

和歌山大学が考えた提案

3回生：仙波結  
2回生：稲見克宥 大賀美咲 合田幸一郎  
1回生：佐橋亮 田中あゆ花 田村安里彩 藤井舞

#### 4. 成果ポスター（南砺市班）

# 富山県南砺市

## 北陸カレッジ2023



中野真緒 永田理子 西脇美吟  
鈴木愛乃 鈴木愛理 谷口実紗希 仁科友良  
(1回生4人、2回生3人)

### 北陸カレッジとは

北陸カレッジとは、JR西日本と北陸の自治体、大学が連携し、若者視点を活用した北陸地域の活性化や旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクトです。一連の取組みを通して、参加学生と地元協力者の間で交流が生まれ、地域と連携強化の促進、大学生による若者目線での旅行プランや地元の課題解決に向けたアイデアの提案、および自主的な地元PRを展開してきました。

### 担当自治体



富山県南砺市

平成16年に合併して南砺市が誕生  
7つのエリアに分かれている

### 課題：滞在時間が短い

五箇山・井波に観光客が集中している

- 五箇山・井波に来た客を他の地域に回すには？
- 1つでも多くのスポットに立ち寄ってもらうには？

## DICE KEY NANTO

〈内容〉 各エリアの主要施設に大きなサイコロを設置

〈目的〉 1. 話題性 → 大きなサイコロで、口コミが広がる！  
2. 滞在時間を延ばす → 1つでも多くのスポットに足を運んでもらう！

### ターゲット

記念日などで特別な体験してもらいたい

**欧米豪の30代～40代の夫婦**

欧米豪はアジア圏に比べ宿泊日数及び旅行支出が高い

### 提案内容

- ◇サイコロを実際に回し、目的地を決定する。
- ◇各目には、周辺のスポット、そこでの体験をセットにし、よりお金を落としてもらいやすい仕組みにしている。

例) 城端エリア

サイコロのデザインは各エリアにちなんだものになっている

高付加価値化

当たりマス

- いなみ木彫りの創遊館で木彫り体験をしよう  
体験後、10段ソフトプレゼント！
- 和紙体験館で和紙漉き体験をしよう




国	平均宿泊数(日)	1人当たり総旅行支出(千円)
アメリカ	15	250
オーストラリア	12	200
イギリス	10	150
フランス	8	120
シンガポール	5	80
中国	3	50

出典：観光庁 「2023年7-9月期外国人消費者動向調査」

### ガイド付き / DICE KEY NANTO PREMIUM

◇ターゲットを更に絞り込み、結婚記念日など日本で特別な体験をしたい、欧米豪の30～40代の夫婦としている

①ガイド

- 新たな魅力発見
- ガイドによるナビゲーション

↓

満足度の向上

②手段

レンタサイクル、タクシー  
2つの移動手段を併用

↓

移動・交通手段の不安解消

③予約制

- 完全予約制
- 1週間前までに予約
- 1日1～2組限定

↓

特別感の創出

料金は2万～3万に設定し、高付加価値化させた商品として売る

### 今後の課題

課題1：ガイドの人数不足  
→ **ガイド育成の講習会の開催**

課題2：コインロッカーの数に地域差がある  
→ **既存の手荷物預かりサービスecho等の活用**

課題3：タクシーの確保体制が万全ではない  
→ **地元のタクシー会社との連携**

### まとめ

	DICE KEY NANTO	DICE KEY NANTO PREMIUM
費用	1,000円	20,000円～30,000円
移動手段	レンタサイクル	レンタサイクル、タクシーを併用
予約	不要	事前予約制
ガイド	なし	同行

## 2023 年度 LPP 合同活動報告会 実施報告

福井県福井市・富山県南砺市

テーマ：北陸カレッジ 2023

報告では、北陸カレッジの内容・福井市と南砺市について・活動の内容・これからの活動について触れました。特に活動の内容については、福井市はターゲット選定の際に使った分析や福井市に対しておこなった提案と実現性などについて言及をしました。また、南砺市は提案を行ったモデルプランの内容とターゲットや価格設定について言及をしました。

以下報告の際に福井市班に来た質問とその回答を掲載させていただきます。

Q. ターゲット選定に分析を用いたということでしたが具体的にどのような方法と結果が出たのですか？

A. 私たちは現地研修を踏まえて福井市を SWOT 分析にかけました。強みとしては人が温かいこと、自然が多くリフレッシュしやすいことなどが出ました。また機会として北陸新幹線が開業して福井市に来やすくなるということから、ターゲットを 20 代から 40 代の女性の一人旅として日頃の疲れをいやすような旅にするという結論に至りました。

Q. サシェを作るという提案がありましたが、匂いはどうして福井市の有名なものなどの匂いを使わなかったのですか。

A. 匂いは一人旅の不安を解消するため、またリフレッシュ効果をもたらすことが目的のため花の香りなどをメインとして、デザインの面を福井市の固有の鳥や花にしました。